

広域・同時多発的に発生する浸水状況の迅速な把握に向けて

— 『安心と成長の未来を拓く総合経済対策』 令和元年度国土地理院関係補正予算 —

浸水状況が一目でわかる浸水推定図を効率的に作成するシステムを構築します。

令和元年台風第15号及び第19号等の相次ぐ自然災害による甚大な被害を踏まえ、国民の命と財産を守るべく、以下の緊急対策を実施します。

○孤立者救助や排水作業の迅速・効率化のための浸水状況推定に関する緊急施策
540百万円

洪水による浸水の範囲や深さを迅速に把握するため、標高データや被災状況に係る SNS 上の投稿、空中写真等を組み合わせ、浸水推定図を速やかに作成・公開できる仕組みを構築することにより、人命救助や排水作業の迅速・効率化の支援を実施します。

○官庁施設の防災設備改修等 78百万円

災害時においても、被災状況を表す地図等の地理空間情報や、地震・火山活動に伴う地殻変動情報を国の災害対策機関や地方自治体などへ迅速・継続的に提供するため、必要な国土地理院施設の耐災害性を強化します。

参考資料：令和元年度国土地理院関係補正予算

(問い合わせ先) 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土交通省国土地理院
企画部 企画調整課長 長谷川 裕之 Tel 029-864-2664
課長補佐 傳法谷 孝雄 Tel 029-864-4568 Fax 029-864-1658

令和元年度 国土地理院関係補正予算

孤立者救助や排水作業の迅速・効率化のための浸水状況推定に関する緊急施策
【540百万円】

【概要】

台風による河川の氾濫を受けて、浸水・建物損壊の被害が多発した際の、孤立者救助や排水作業の迅速・効率化のために、近年の地形改変に対応した標高データ等を整備するほか、これらのデータや被災状況を示すSNS上の投稿や空中写真などを組み合わせ、浸水状況（範囲・深さ）が一目でわかる**浸水推定図**を効率的に作成するシステムを構築します。

【背景】

浸水発生時のニーズ

人命救助や排水のため浸水範囲や湛水量を迅速に把握したい

地理院の対応

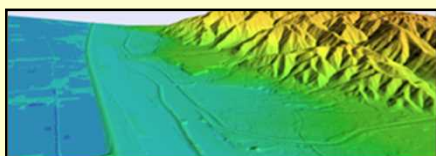
浸水状況が一目でわかる**浸水推定図**を作成公開

台風第19号等の経験を踏まえて

標高データ等が未整備な一部河川でのデータ整備が必要。また、広域かつ同時多発的に発生する被害に対応するためのシステムの構築が必要

【実施内容】

データ整備

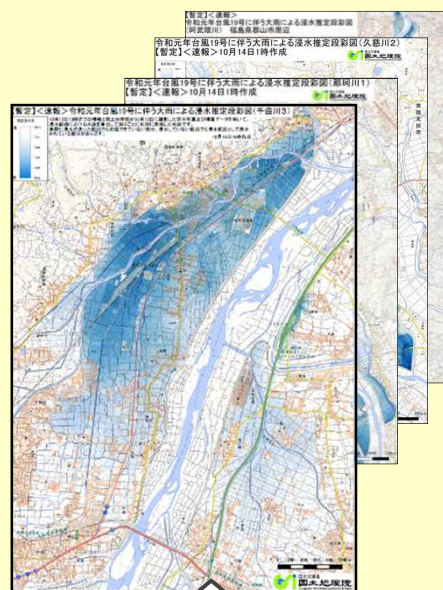


浸水状況を正確に推定するために、近年の地形改変に対応した標高データ等を整備



航空機による撮影を実施するほか、SNSの画像を活用

浸水推定図



複数箇所の浸水推定図を速やかに公開

システム構築



被害が広域かつ同時多発的に発生した場合でも、大容量のデータ（標高データや空中写真）を効率的に処理

事前に整備した標高データや、被災地の空中写真を組み合わせることで、浸水状況を推定

【効果】



救助ヘリ(※)



救助ボート(※)



排水ポンプ車

人命救助や排水作業に貢献！

※防衛省HPから引用

官庁施設の防災設備改修等

【78百万円】

国土地理院は、災害対策基本法における指定行政機関として、地図、空中写真等による被災状況の把握、地震・火山活動に伴う地殻変動データ等を迅速に国の災害対策機関や地方自治体等へ提供することで、様々な災害対策に役立てられています。国土地理院が被災した場合においても機能を維持するため、施設の被害対策等の耐災害性強化を実施します。